

令和4年度
名寄市教育改善プロジェクト委員会

教育指導の充実に関する研究グループ

教育指導の充実に関する研究グループ

1 ICTを日常的に活用した教育活動の工夫・改善

◇ MDM向け研修の開催

- ・ 日時:5月18日(水)16:00~16:30
- ・ 場所:Google Meet
- ・ 講師:コピーセンターグローバル
代表取締役 泉谷 暖 氏
- ・ 内容:Google管理コンソールの概要について

◇ 1人1台端末の適切な利用に関するガイドライン

- ・ 名寄市小中学校教育情報セキュリティガイドライン及び市内小中学校の活用ルールに関する資料をもとに作成

1人1台端末の適切な利用に関するガイドライン
名寄市教育指導部(TEL:0167-22-1111)
教育指導の充実に関する研究グループ

I 端末の管理

(1) 端末の保管場所
①保管場所は校内の指定保管庫とする。ただし、日課内は学級等の定められた場所(保護ケース、収納ボックス)での保管を可能とする。放課後までに、保管庫に戻却する。
②スクリーンは保管用のケースに戻却する。

(2) 端末の持ち帰り
①日常の学校外への持ち出しは原則禁止とする。ただし、長期休業中や臨時休業時に端末を活用した学習課題を家庭で行う場合、登校できない児童生徒が家庭で端末を利用して学習する場合は、「端末貸出申請書兼同意書」の提出により可能とする。
②アカウント(ID・パスワード)については、家庭の端末でも利用可能とする。ただし、家庭学習以外の目的で利用しないよう家庭と連携する。



(3) アカウント及び個人データ
①アカウントの発行は小学校に入学時、または転入時とする。中学校入学時は、小学校から引き継ぐ。
②ユーザーが作成したデータはクラウドストレージの活用を基本とする。
③卒業及び転出時は、1ヶ月間をデータ移行期間とし、1ヶ月後にアカウント及び個人データを削除する。

(4) ソフトウェア
①新規アプリを1人1台端末にインストールする場合は、事前に承認を受ける。
②webサイト閲覧制限は、Google Admin Consoleで設定する。

II 端末利用の制限

(1) 利用の目的
①学校の教育活動を目的とする。
②児童会・生徒会活動、委員会活動等で利用する。

(2) 利用上の注意
①端末は市から貸与されているので、当者及び責任者に報告する。
②端末は教師の指示に従って利用し、
③端末利用の際には、児童生徒の健康

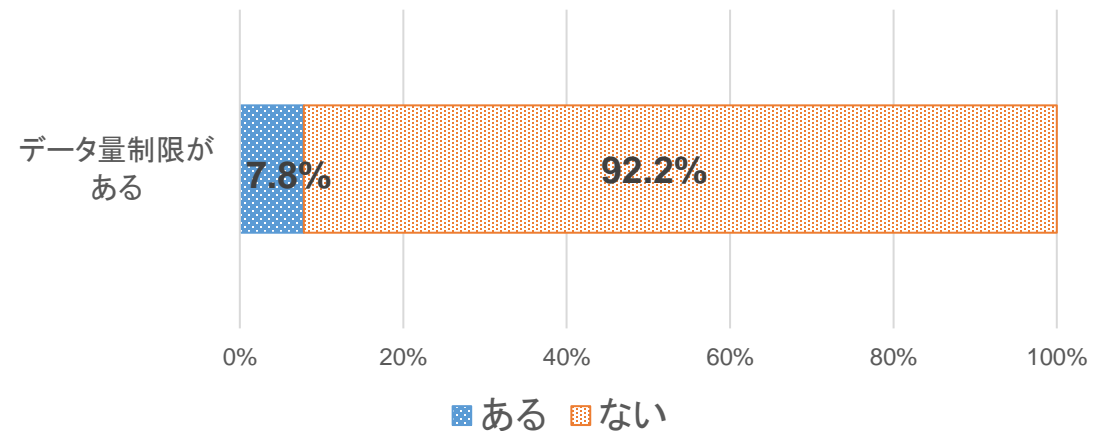
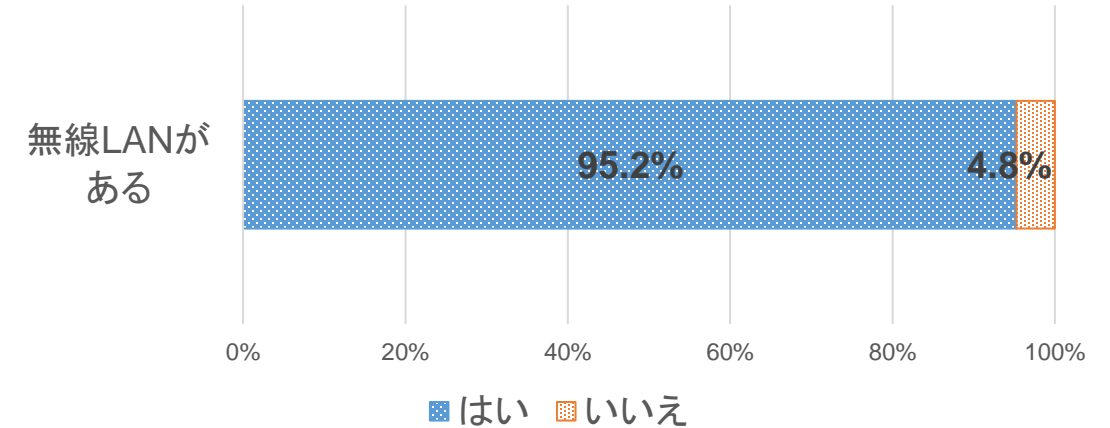
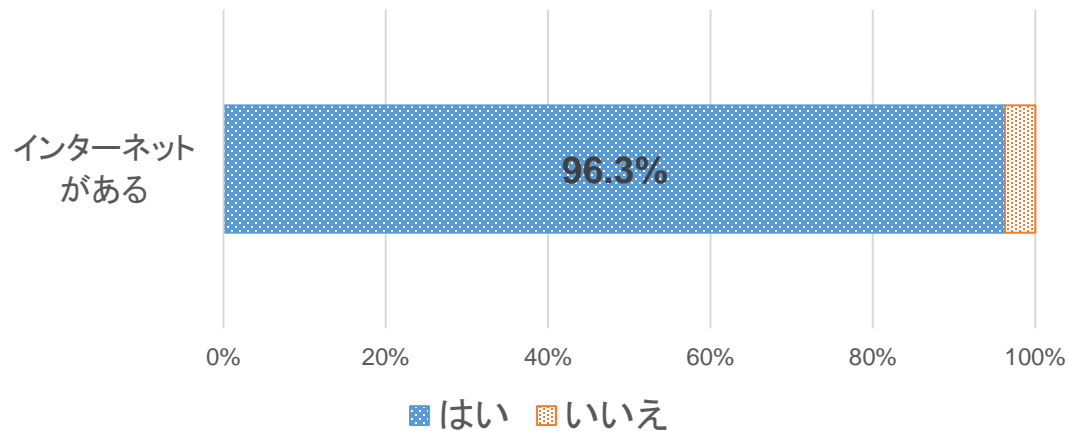


教育指導の充実に関する研究グループ

1 ICTを日常的に活用した教育活動の工夫・改善

◇ インターネット環境調査

- ・ 日時：令和4年6月
- ・ 対象：市内小中学校11校



教育指導の充実に関する研究グループ

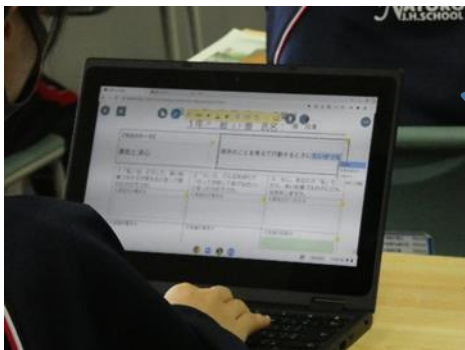
2 個別最適な学びと協働的な学びの実現に資する1人1台端末を活用した指導方法や教材等の工夫・改善（含プログラミング教育の充実）

1 授業公開

名寄市立名寄中学校 1学年道徳科

単元名 B-6「思いやり、感謝」

使用ソフト・コンテンツ：ロイロノート



端末を使って、自分の考えをロイロノートに書き込み、掲示する。

生徒は、大型画面もしくは、端末を見て、仲間の考えと自分の考えを比較したり、分類する。

思考を可視化することで、自分の考えをまとめ、発表しやすくなった。

自分の考えと仲間の考えを比較し、整理することで、自分の考えを深めることができた。

2 授業の成果と課題

①成果

- 発言が少ない生徒や、学習に困難を抱えている生徒の意見も取り上げられたり、全員の考えが可視化でき、意見の共有という点で有効。
- ロイロノートを使って生徒から出されたキーワードの情報を共有し、課題を作ることができた。
- 簡単に他者の考えと比較でき、考えが広がったり深めたりすることができた。

②課題

- ▲板書とタブレットのバランス。
- ▲ロイロノートで情報を共有化し、生徒が考えを多角的・多面的に捉えたか評価したい場面では、ロイロノートのテキストに書き込んで提出させると、教師が評価しやすいと感じた。

教育指導の充実に関する研究グループ

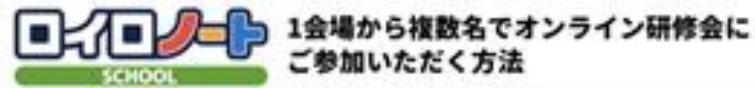
3 教職員のニーズに応じたICT活用研修等の計画的な実施

ロイロノート活用研修会

- ① 基本操作の振り返り
- ② シンキングツールの使い方
- ③ 共有ノートの作り方
- ④ 小テストやアンケートの具体
- ⑤ 実践事例の共有

グーグルアプリ活用研修会

- ① 更新による変更点の確認
- ② マイクロソフトとの違い
- ③ 各アプリの活用の具体
 - スプレッドシート
 - スライド
 - ドキュメント
 - Forms (フォームズ)
 - Jamboard (ジャムボード)



zoomの画面



大型ディスプレイ、スクリーンなどを使って参加者全員が一つの画面を閲覧してください。

ロイロの画面



各自の端末でロイロにログインをして、操作をしてください



検索



Forms



チャット



スプレッ...



ドライブ



ドキュメ...



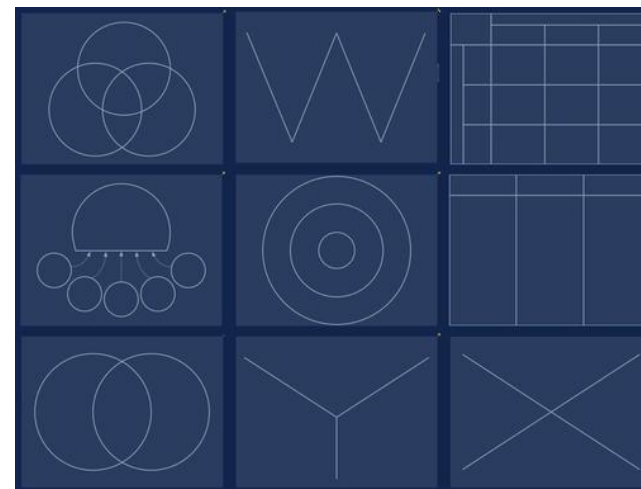
Classroom



スライド



Jamboard

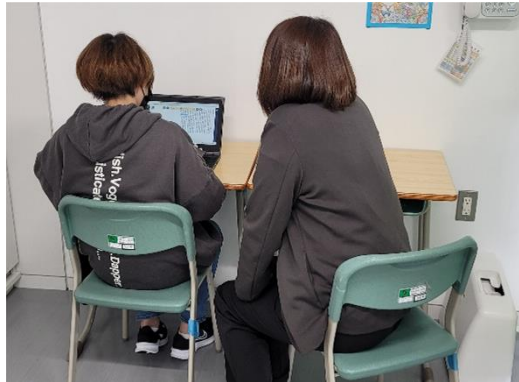


教育指導の充実に関する研究グループ

4 名寄市学校情報化推進委員会と連携したICT環境の整備・活用等

ICTを活用した不登校や登校しぶり等の児童に対する支援について

登校しぶり児童に対するICTの活用事例



ICT教材「eboard」
を活用した個別学習



不登校児童に対するICTの活用事例



児童センターの相談員と一緒に、会議室からリモートで外国語の授業に参加。



理科の実験の授業を教室からオンライン配信し、それを別室で視聴しながら一緒に実験を行った。

ICT環境の活用目的

- 1 従来からの不登校児童生徒への支援のさらなる充実
- 2 児童生徒と学校のつながりの強化
- 3 学習意欲の維持・向上

社会的自立

教育指導の充実に関する研究グループ

5 成果と課題

成果

- 各学校の端末の活用ルールを集約し、名寄市の学校としての**標準的なガイドライン**を作成
- 発言が苦手な児童・生徒や学習に困難を抱えているの児童・生徒の**意見・考えの可視化**
- 計画的なICT活用研修による**教員のスキルアップ** 大部分の教員が最低限使用できるスキルを習得
- 不登校児童生徒支援におけるW e b教材を活用した学習や別教室と学習教室を繋ぐ**オンラインシステムの活用**

課題（次年度に向けて）

- ▲インターネット回線がない家庭への**ポータブルWi-Fiの貸し出し等の手立て**（端末持ち帰りの際）
- ▲**板書とタブレットの使い分けなど、ICTの効果的な活用場面を考えた授業改善**
- ▲**教員全体のITリテラシーの向上と人事異動に伴う転入教員へのサポート**
- ▲**端末持ち帰りの際の機器の破損・故障に係わる補償と責任の明確化**
- ▲**遠隔授業や集中アクセスに対応できる校内Wi-Fi環境のさらなる整備**